

ガンビア国の若年雇用創出と持続可能な平和構築



建設現場で、聴覚障害のある労働者が他の労働者たちと手話で交流する様子

雇用集約型投資(EIIP)

EIIPは、雇用機会の最大化と現地のリソース(資金・資源)の活用を目的としたILO投資手法のひとつ。EIIPは、インフラ開発を雇用創出、現地の経済・社会開発と結び付けることで、必要な雇用、収入、コスト削減、外貨貯蓄をもたらす、地域産業振興を支援し、国の能力強化を行う。

背景



ガンビア*では22年に及ぶ前政権からの政治的移行が喫緊の課題である。前政権下で疲弊していた経済状況は、2016年のエボラ出血熱危機により一人当たり国内総生産(GDP)成長率がマイナス0.84%に落ち込み、加えて2017年の政情不安により、ますます悪化した。高い失業率も一層上昇し、2017年には全人口に対して29.8%、若年層では43.9%を記録した。

就労機会が乏しいガンビアでは、非正規移民が後を絶たない。国際移住機関(IOM)の支援により帰還した移民は3,500人を超え、この数字は当初予測の6倍である。このような差し迫った危機に対応するため、日本政府が出資する当プロジェクトは、インフラ建設での雇用機会を創出し、ガンビア社会が持続可能な平和を構築する手助けをする。2018年4月-2019年4月の活動実施期間を通じて、40年以上にわたりILOが培った雇用集約型投資(EIIP)の経験を活用することで、雇用機会を最大限に拡大する。

*西アフリカに位置し、面積は岐阜県とほぼ同じ。人口約204万人(2016年世銀データ)

プロジェクト戦略

目標:

帰還民や女性に焦点をあてた若年雇用創出。地元のリソースを活用したインフラ建設、エンプロイアビリティ(就業能力)育成、起業家支援を通じて、ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進することで、社会の安定化と持続可能な平和を構築する。

プロジェクトでは、雇用集約型投資(EIIP)手法を用いて、インフラ建設関連の雇用を迅速に創出し、技能の熟練度にかかわらず多数の雇用機会を提供する。経済成長を牽引する農業、ツーリズム、漁業部門に直接的に貢献するインフラを厳選し、地元で入手可能なリソースを活用する。また技能訓練、起業家支援の実施によりプロジェクト効果を持続可能なものとする。加えて、労働安全衛生(OSH)や、帰還民と女性の包摂による平等と相互理解の促進を通じて、ディーセントな雇用創出の重要性を強調する。



プロジェクトで働く労働者の半数は女性であり、建設事業は男性労働者が担うという従来の固定観念を変えつつある

期待される成果

雇用創出

- 女性や帰還民、障害のある人に焦点をあてた400人の若年雇用創出
- 3つのインフラ建設プロジェクトにより刺激される経済成長
- 雇用集約型投資手法を織り込んだ技能開発

ディーセント・ワーク推進

- 建設分野の水準を上げるための労災・医療保険が整ったディーセントな労働条件の推進
- 労働安全衛生(OSH)の推進と実施

エンプロイアビリティ(就業能力) 起業家支援

- 労働集約的な建設作業推進のための実践的な訓練モジュールの開発
- 労働市場への統合推進
- ILOの「開業・事業改善計画(SIYB)」を通じた企業への指導

詳細な情報は: [ILOダカール事務所まで](http://www.ilo.org/global/topics/employment-intensive-investment/lang-en/index.htm) 電話+221 33 869 9200

<http://www.ilo.org/global/topics/employment-intensive-investment/lang-en/index.htm>



これまでの主な成果(2018年12月時点)

- ❖ 250人の若年層がツーリズムと漁業部門における建設プロジェクトで雇用された。内訳は女性と男性が半々であり、全体の12%を帰還民が占めるとともに、聴覚障害のある人が10人(男女各5人)含まれる。労働者間の円滑なコミュニケーションを可能とするため、手話通訳が手配されている。(農業部門においてさらなる雇用が見込まれている。)
- ❖ 4人のガンビア人若手エンジニアがプロジェクトチームで雇用され、日本のパートナーNGO・道普請人(CORE)により導入された土のう技術が持続可能な形で活用されている。
- ❖ Kotuでは1.2kmの遊歩道の改修作業が完了し、観光客がバード・ウォッチングやサイクリングを楽しむとともに、ホテルへの安全なアクセスが確保された。
- ❖ Gunjurでは2.5kmの道路建設が進行中であり、漁業の水揚げ地点から主要幹線道路への輸送時間の短縮、および市場・学校・モスク・診療所へのアクセス改善と市民の安全が確保されている。
- ❖ 250人すべての労働者が労災・医療保険に加入した。
- ❖ 250人すべての労働者が土のう技術と起業に関する研修を受講した。Kotuの作業現場でボランティアとして働いていた若者は起業し、会社登録と銀行口座開設を済ませた。
- ❖ すべての労働者が就業開始前に労働安全衛生(OSH)に関する研修を受講した。55人の政労使関係者が労働安全衛生の指導者研修を受講し、地元企業や建設現場で変化をもたらしつつある。
- ❖ ILOがIOM・ITC・ガンビア政府と共催した就職イベントにおいて、300人の若者が採用予定のある企業関係者と接点を持った。
- ❖ ガンビアの状況に適したディーセントな労働条件に関する理解が国内外の関係者に浸透しつつある。





プロジェクトの広報資料や掲載実績

(英語)

-EIIP Country Page – The Gambia

https://www.ilo.org/global/topics/employment-intensive-investment/countries/WCMS_647424/lang--en/index.htm

-Japan to support youth employment to build stability and peace in The Gambia

https://www.ilo.org/pardev/news/WCMS_622998/lang--en/index.htm

-Launch of the employment-intensive construction works (Published in the ILO Employment Newsletter as well)

https://www.ilo.org/global/topics/employment-intensive-investment/WCMS_647351/lang--en/index.htm

-Project Video on Youtube (broadcasted on QTV in The Gambia)

<https://www.youtube.com/watch?v=84iDdJt1Ms&feature=youtu.be>

(日本語)

-「ガンビア国の若年雇用創出と持続的な平和構築」概要パンフレット

https://www.ilo.org/tokyo/information/pr/WCMS_633478/lang--ja/index.htm

- ガンビア:若年雇用の創出による持続可能な平和構築～雇用集約型建設作業がスタート！

https://www.ilo.org/tokyo/information/pr/WCMS_649039/lang--ja/index.htm

- ILO駐日事務所>ILOと日本>パートナー

<https://www.ilo.org/tokyo/ilo-japan/partnerships-with-japan/lang--ja/index.htm>

- ガンビア国の若者の雇用創出と持続可能な平和構築

https://www.ilo.org/tokyo/ilo-japan/partnerships-with-japan/WCMS_630103/lang--ja/index.htm

(その他)

-Job fair featured in the newspaper and radio in The Gambia

-Launch of the construction work featured in the newspaper in The Gambia

-Launch of the construction work featured in the newsletter of the Employment Department of the ILO.

-Project paper shared with U.N. agencies including UNDP, UNICEF, UNESCO, UNOPS, ITC, UNHCR, FAO, WHO, UNFPA etc. and other donors including EU, Italian Cooperation, Enabel, Embassy of Korea, KOICA etc.

-National and international stakeholders visited the construction sites to observe young women and men working with Do-nou technology on 27th Dec 2018.

-Local newspaper in Gunjur featured the employment-intensive work for the access road on 9th Jan 2019.

